

スの実施

5. 環境・エネルギー産業に係る情報発信及び情報収集、広報活動

2 指定の経緯

令和6年8月15日	募集要項配布
令和6年9月24日	募集締め切り
令和6年10月15日	指定管理者検討会の開催
令和6年10月	指定管理者候補を決定

(1) 応募資格

- ① 法人、その他の団体であること。(個人による応募は不可)
- ② 本社、本店又は主たる営業所、事務所等を、事故など緊急な対処を要する事態が発生した場合に迅速に対応できる場所に有するもの。
- ③ 申請意向届出書を提出していること。(共同事業体で応募する際は、代表団体が申請意向届出書を提出していること。)
- ④ 共同事業体を構成する場合は、競争性を確保した上で、本市経済の振興と地元団体の育成を図る観点から、可能な限り地元団体を構成員とするよう努め、最低1団体は地元団体とすること。

(2) 応募状況

説明会参加：2団体

応募件数：1団体（一般社団法人 北九州エコタウンネットワーク）

3 選定方法

指定管理者の選定に当たっては、学識経験者や専門家等による指定管理者検討会を開催し、応募者から提出された事業計画書等について検討しました。市は、検討会の検討結果を参考に指定管理者候補を決定しました。

4 検討会構成員

・[学識経験者]

松本 亨（北九州市立大学 環境技術研究所 教授）

・[市民]

泉 優佳理（科学技術コミュニケーション研究所 代表）

・[財務・経営に知見を有する者]

則松 佳孝（(公財)北九州産業学術推進機構 経営相談マネージャー）

・[業務に精通する者]

渡部 英子（株式会社小倉縞縞 取締役会長）

・[業務に精通する者]

石本 康治（株式会社エコウッド 取締役会長）

5 選定基準等

選定基準（＝審査項目）及びポイント	
1	指定管理者としての適性
	(1) 施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針
	① 応募団体が、市の当該分野における基本的な政策や計画、あるいは施設の設置目的や性格等を十分に理解した上で、それらに適合した管理運営（指定管理業務）に対する理念や基本方針を持っているか。
	(2) 安定的な人的基盤や財政基盤
	① 長期間安定的な管理運営（指定管理業務）を行っていただくだけの人的基盤や財政基盤等を有しており、又は確保できる見込みがあるか。
	(3) 実績や経験など
	① 応募団体が同様、類似の業務の実績を有しており、成果を上げているか。
	② 応募団体が施設の管理運営（指定管理業務）に関する専門的知識や資格、経験を十分に有しており、熱意や意欲を持っているか。
	③ 複数の団体が共同して一つの応募団体となっている場合、それぞれの責任分担等が明確になっているか。
2	管理運営計画の適確性
	【有効性】
	(1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み
	① 施設の管理運営（指定管理業務）に係る事業計画の内容が、施設の効用を最大限に発揮し、施設の設置目的に沿った成果が得られるものであるか。
	② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための実施可能な提案があるか。
	③ 施設の設置目的に応じた営業・広報活動に関する効果的な提案があるか。
	④ 他団体などと連携した新たな視点での取組に関する提案があるか。
	(2) 利用者の満足度
	① 利用者の満足が得られるよう十分に考えられているか。
	② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる仕組みを構築しているか。
	③ 利用者からの苦情に対する対策が十分に考えられているか。
	④ 利用者への情報提供が図られるよう十分に考えられているか。
	⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な提案がなされているか。
	【効率性】
	(3) 指定管理料及び収入
	① 指定管理業務に係る費用（指定管理料）が最小限に抑えられているか。
	② 本市の収入が最大限確保される提案であるか。
	③ 指定管理者の独自収入を確保するための提案があるか。
	(4) 収支計画の妥当性及び実現可能性
	① 収支計画が妥当かつ、実現可能な提案であるか。
	② 経費の配分は適切であるか。
	③ 積算根拠は明確であるか。
	④ 再委託が適切な水準で行われているか。
	【適正性】
	(5) 管理運営体制など
	① 施設の管理責任者、管理体制が明確に示されているか。

②施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であるか。
③施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員が必要な資格、経験などを有しているか。
④職員の資質・能力向上を図るよう考えられているか。
⑤地域の住民や関係団体等との連携や協働による事業展開が図られるものであるか。
(6) 平等利用、安全対策、危機管理体制など
①施設の利用者の個人情報保護のための対策が十分に考えられているか。
②利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されているか。
③利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われるよう配慮されているか。
④日常の事故防止などの安全対策や事故発生時の対応などが十分に考えられているか。
⑤防犯、防災対策や非常災害時の危機管理体制などが十分考えられているか。
(7) 社会貢献・地域貢献
<社会貢献の視点>
①高齢者や障害者等の雇用促進が考えられているか。
②労働環境の向上への取り組みが考えられているか。
③SDGsの達成や環境への配慮に関する取り組みが考えられているか。
<地域貢献の視点>
④地域活動や地域交流などの取り組みが考えられているか。
⑤地域団体や市内事業者などと連携した取り組みが考えられているか。
⑥市民の雇用拡大に資する配慮が考えられているか。

【評価レベル】

評価レベル	乗率	評価レベルの考え方
5	100%	特に優れている（市の要求水準を大幅に上回っている、高度な能力を有している）
4	80%	優れている（市の要求水準を上回っている、十分な能力を有している）
3	60%	普通（市の要求水準を満たしている、一応の能力を有している）
2	40%	多少不十分である（市の要求水準を下回っている、多少能力が乏しい）
1	20%	不十分である（市の要求水準を大幅に下回っている、能力が乏しい）
0	0%	劣っている（能力がほとんどなく、任せることに不安がある）

6 審査結果

(1) 評価レベル及び得点

団体名	選定基準 (=審査項目) 及びポイント	配点	評価レベル					検討会 審査結果	得点
			構成員						
			A	B	C	D	E		
一般社 団法人 北九州 エコタ ウンネ ットワ ーク	1 指定管理者としての適性								
	(1) 施設の管理運営に対する 理念、基本方針	5	4	4	4	5	4	4	4
	(2) 安定的な人的基盤や財政 基盤	5	4	4	3	4	5	4	4
	(3) 実績や経験など	5	4	4	4	5	4	4	4
	2 管理運営計画の適確性								
	【有効性】								
	(1) 施設の設置目的の達成 に向けた取組み	30	4	4	4	5	4	4	24
	(2) 利用者の満足度	10	4	3	3	4	4	4	8
	【効率性】								
	(3) 指定管理料及び収入	15	3	4	3	4	3	3	9
	(4) 収支計画の妥当性及び 実現可能性	10	3	4	3	4	3	3	6
	【適正性】								
	(5) 管理運営体制など	10	3	4	4	4	4	4	8
	(6) 平等利用、安全対策、危 機管理体制など	10	3	4	3	4	3	3	6
	(7) 社会貢献・地域貢献	10	3	3	4	4	3	3	6
合 計	110	77	84	78	96	80	—	79	
地元団体に対する優遇措置 (5点)								84	

(2) 検討会における主な意見

- ・独自の提案事業に積極的にトライしていく姿勢や、多岐に渡る見学者への具体的な対応が多くあり、素晴らしいと思う。
- ・財務的にしっかりと運営がなされており、より良い運営を行うための工夫や様々なことに挑戦していくという力強い意志を感じた。
- ・指定管理という視点で見ると充分であると感じた。エコタウン企業や社会情勢が変わる中で、センターの運営についても、食事場所や工場見学先についても、少し変化があると良いと感じた。
- ・これから海外に向けて情報を発信していくことを考えると、韓国語だけでなく、英語への対応が出来るとより良いと思う。
- ・サーキュラーエコノミー×カーボンニュートラル×ネイチャーポジティブを総合的に学べる取組みにトライするのは素晴らしいが、提案内容をもう少し踏み込んだものにすると良かったと思う。
- ・長年、指定管理をされている団体なので、安定した管理が出来るというメリットがある一方で、保守的になりがちなデメリットも感じた。もう少し踏み込んだ新しいチャレンジをしてもらえば、より良い形になると感じた。

(3) 検討会における検討結果

- ・ 構成員の評価レベルを基にした審査結果及び得点は市の要求水準を上回り、十分な能力を有していると判断されることから、検討会は、今回応募のあった1団体を次期指定管理者の候補に相応しいと結論し、市に報告した。

7 選定結果

市は、検討会の検討結果を参考に、一般社団法人北九州エコタウンネットワークを指定管理者候補に選定しました。

(1) 選定された団体の主な提案内容

別紙「提案概要」のとおり

(2) 市における主な選定理由

- ・ 施設の設置目的や指定管理業務を十分理解し、施設運営の方向性について明確な理念・ビジョンを有しており、地域に開かれた、より良い施設となるための新たな取組みが数多く提案されるなど、指定管理者の選定に向けた強い意欲が感じられる。
- ・ 北九州エコタウンにおける実務経験と環境に関する専門知識を有した人的基盤と北九州エコタウン企業等との強固なネットワークがあるほか、安定した財政基盤により、長期的に安定した管理運営が望める。
- ・ 北九州エコタウン企業や市内企業、関連団体と連携した独自企画の提案や地域住民、学校と連携した各種イベントなど、見学者の増加や環境学習施設としての設置目的を最大限に発揮する新たな提案がなされている。

8 提案額

83, 137千円 (令和 7年度)

83, 137千円 (令和 8年度)

83, 137千円 (令和 9年度)

83, 137千円 (令和10年度)

83, 137千円 (令和11年度)

北九州市立エコタウンセンター指定管理者選定に関する提案概要

審査項目	(指定管理者候補団体) 一般社団法人北九州エコタウンネットワーク
1 指定管理者としての適性について	<p>(1) 施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針</p> <p>【理念】 <u>地域と「学び」「育み」「つなぐ」未来</u> ・エコタウンや地域とのパートナーシップを一層深め、循環型社会やエネルギー、SDGsの理解増進、市民環境力の向上に資する環境学習拠点としてのプレゼンス向上を目指す。</p> <p>【基本方針】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①体験や交流を通じて深く学べる環境学習施設 ②エコタウンの情報発信 ③洋上風力の発信を軸とした地域活性化 ④パートナーシップ（地域連携）の一層推進 ⑤持続可能なエコタウンと地域づくりの活動 ⑤CX（カスタマーエクスペリエンス）の向上 <p>(2) 安定的な人的基盤や財政基盤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコタウン認定企業5社を社員とし、強固なネットワークによるセンターの管理運営に欠かせない「情報共有体制」・「相互支援体制」を構築する。 ・「実務経験と専門知識を豊富に有した」コア人材に加えて、大学・環境分野での講義実績、エコタウン各工場の知識、ガイド経験等を有する人材を揃える。 ・安定した利益確保により構築された財務基盤により、安定した運営管理が可能。 <p>(3) 実績や経験など</p> <ol style="list-style-type: none"> ①北九州市エコタウンセンター指定管理（平成31年度～） <ul style="list-style-type: none"> ・多様な団体との連携による環境啓発活動 ・地域の環境イベント「エコタウンまつり」開催 ・リモートエコタウン工場見学の導入 ・環境首都検定優秀表彰 ・エコタウン人材確保支援として合同会社説明会開催 ・洋上風力関連のツアー企画・アテンド実績 等

2 管理運営計画の適確性		②白島国家石油備蓄基地白島展示館の運営管理（令和3年度～）
	【有効性】に関する 取組み	<p>(1) 施設の設置目的の達成に向けた取り組み</p> <p>【数値目標】 年間見学者数10万人以上の安定的な達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北九州エコタウンセンターの設置目的に基づいた管理運営と、市民、利用者が安全・安心・快適に利用できる施設環境を目指す。 ・センターの魅力アップ・価値向上の実現に取り組む。 <p>【環境学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の区分、ニーズに応じた見学対応、分かりやすさを基本とし、学習メニューの充実を図る。 ・新たに「デジタル・アクティビティ・エンジョイ」の要素を加え、魅力ある環境学習体験を提供する。 <p>【情報発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコタウンの情報を適切・タイムリーに発信していく。 ・利用者の利便性向上のためホームページをリニューアルする。 ・次世代に向けたSNSでの効果的な発信に取り組む。 <p>【洋上風力と地域活性化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次世代エネルギーパークを拠点に、洋上風力発電を軸としたカーボンニュートラルの情報発信を行うと共に、洋上風力ツアーの企画など、地域の観光促進、活性化に貢献する。 <p>【連携の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコタウン企業や地域、分野を超えた多種多様な団体等との連携を一層深め、魅力ある環境体験の提供、市民環境力の向上、地域の賑わいを創出する。 <p>【エコタウンや地域への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコタウン企業の人材確保、地域の雇用創出に向けた合同説明会の開催、市民や従業員の健康増進に資する活動を展開する。 <p>【CXの向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来館前から見学後まで利用者目線のおもてなしを徹底。 ・当社ネットワーク、デジタルツールの活用等による利便性と体験価値の向上を図る。

		<p>(2) 利用者の満足度</p> <p>【数値目標】 利用者満足度 95%以上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコ・コンサルジユの設置 ・おもてなし視点での運営改善（※利用者の声を直接ヒアリング） ・パーソナライズド体験の提供 ・利用者が事前に必要な情報を入手できるようホームページをリニューアル 										
<p>【効率性】 に関する 取組み</p>		<p>(1) 指定管理料及び収入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理運営実績に基づいた計画的効率的な管理運営、経費節減を図ると共に、再委託先との綿密な連携、清掃業務及び設備保守業務、警備業務、保守点検の業務効率化を図り、コスト削減に努める。 <p>【独自収入確保に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校向けリモート工場見学企業・団体向けリモート講座 ・オーダーメイドツアー／体験オプションメニュー ・企業向け新人研修パッケージの提供 ・グッズ販売拡充（ワークショップキットの販売） ・有料ワークショップ <p>【提案額】</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>令和 7年</td> <td>83,137千円</td> </tr> <tr> <td>令和 8年</td> <td>83,137千円</td> </tr> <tr> <td>令和 9年</td> <td>83,137千円</td> </tr> <tr> <td>令和10年</td> <td>83,137千円</td> </tr> <tr> <td>令和11年</td> <td>83,137千円</td> </tr> </table> <p>(2) 収支計画の妥当性及び実現可能性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去5年間の管理運営実績を基に、施設維持管理経費等は、外注業者からの見積りにより積算。 ・物件費や人件費については将来の物価上昇および賃上げを見込んだ計画としている。 	令和 7年	83,137千円	令和 8年	83,137千円	令和 9年	83,137千円	令和10年	83,137千円	令和11年	83,137千円
令和 7年	83,137千円											
令和 8年	83,137千円											
令和 9年	83,137千円											
令和10年	83,137千円											
令和11年	83,137千円											

	<p>【適正性】 に関する 取組み</p>	<p>(1) 管理運営体制など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理運営のため、統括管理責任者1名、センター長1名、次長1名、ガイド6名、パート事務1名の10名体制とする。 ・当社人材の経験や専門性を活かし、柔軟かつ安定的に配置することで、満足度の高い見学者対応や利用者サービスを可能とする。 <p>(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など</p> <p>【平等利用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノーマライゼーションに基づく施設運営。 <p>【安全対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センター安全管理マニュアルを整備し、危険の把握と予防のための定期巡回を実施する。 <p>【危機管理体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全管理マニュアルに基づいた行動の徹底する。 <p>【個人情報】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「個人情報の保護に関する法律」と個人情報保護内部規定に基づいた取扱いを徹底する。 <p>(3) 地域貢献・社会貢献</p> <p>【地域貢献】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の市民環境イベント「エコタウンまつり」の開催 ・資源回収デーの開設 ・市内事業者、地域の高校と連携し、地域の雇用創出に向けた「北九州エコタウン&次世代エネルギーパーク合同会社説明会」の開催 <p>【社会貢献】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の雇用促進、地域の障害者支援施設と協働した環境体験メニューの開発 ・労働環境の向上（働き方の柔軟性向上、社員の健康と福祉を増進、キャリア開発支援）
--	-------------------------------	---

北九州市エコタウンセンター 指定管理者検討会 会議録

- 1 開催日時 令和6年10月15日(火) 14:00~16:00
- 2 場 所 AIMビル 313会議室
- 3 出席者 (検討会構成員) 松本構成員(座長)、泉構成員、則松構成員、
渡部構成員、石本構成員
(事務局) 環境局サーキュラーエコノミー推進課長、
企業支援係長

4 会議内容

- 構成員の紹介及び互選により座長を選出
- 検討会の位置づけ及び選定基準、採点の注意事項について、事務局より説明
- 応募団体からの提案説明及び構成員による質疑
- 検討会としての評価レベル(審査結果)の決定
- 評価レベル及び総合的な所見を市へ報告

5 応募団体からの提案説明後の主な質疑

- (構成員) 市外からの見学者が、一番困るのが昼食場所である。提案書には、イベント時の飲食についての記載があるが、通常の見学時の飲食スペースについて、どのようにしていきたい等の思いはあるか。
- (応募団体) 昼食場所については市とも調整中だが、現状では中庭にテーブルとベンチを用意しており、持ち込んだものをそこで食べて頂くというやり方を取っている。そのほか、近隣の響灘ビオトープで実施しているキッチンカーのイベントをエコタウンセンターでも実施するなど検討し、今後も利用者の困りごとを解決していくつもりである。
- (構成員) 現状の工場見学コースには、服のリサイクルが入っていないが、今後、見学コースに追加するなどの計画があるのか。
- (応募団体) 古着のリサイクルについては、エコタウンセンターに回収ボックスを設置しており、市民ニーズが高いことから、今回の提案事業で、資源ごみ回収キャンペーンを新たに実施する予定である。
- (構成員) せっかく古着のリサイクル工場が近くにあるため、単に古着を持っていくだけのイベントではなく、合わせて工場見学もできるなどの取組があるとよいと思う。
- (応募団体) 頂いた意見を踏まえて検討していく。リサイクル工場の受入れ体制が整っていないため現状では受入れが難しいところもあるが、受入れ体制が整い次第、工場側と交渉していきたい。また、イベントでは、ただ古着を回収するだけではなく、リユース講座などを実施する予定である。
- (構成員) 提案書では、リモート工場見学なども推進するとあるが、今後の工場見学は、デジタルとリアルどちらを重点的に進めていくつもりか。
- (応募団体) 遠方の方には、北九州まで来るのは難しいこともあるため、リモート

- 見学で対応していく予定である。見学者の幅広いニーズに応じて、リモートとリアルどちらも進めていく。
- (構成員) 見学者数10万人という目標は、オンライン見学者も含まれるという認識でよいか。市の仕様もそれでよいか。
- (応募団体) オンライン見学も含めた数字である。
- (北九州市) ご認識の通りである。
- (構成員) 海外からの見学者への対応について、韓国語への対応は記載されているが、英語対応についてはどのように考えているか。
- (応募団体) 韓国語は、日常会話程度が行えるスタッフを有しているが、英語には現状で対応できていない。今後、スタッフの習得を進めていくと共に、外国人材の採用を検討している。
- (構成員) カーボニュートラル、サーキュラーエコノミー、ネイチャーポジティブの統合化について取り組むとのことだが、具体的な取組内容を教えてほしい。
- (応募団体) 専門的なノウハウを有する団体との連携を図っていききたい。具体的には、例えば、グリーンパークや響灘ビオトープなどと連携してスタンプラリーを実施することで、響灘地区の魅力を伝えていくなどの取組みを検討している。
- (構成員) 収支計画について、人件費が高騰していく中、施設運営においては経費削減を考える必要があると思うが、具体的な経費削減をどのように取り組んでいくか。
- (応募団体) 光熱費などは、使っていないところの電気を消すなどの節約できるところは節約を行っている。また、施設内の草刈りなど、外注せずに極力内製化することで経費を抑えている。そのような細かい取組みを継続して実施していくつもりである。

6 採点後の各構成員の評価・意見

- (構成員) 人件費など様々なものが高騰する中、独自の提案事業にも積極的にトライしていく姿勢は素晴らしいと思う。また、企業人や小中学校など多岐に渡る見学者に対して、それぞれどのように対応していくかなどについて具体的な提案が多くあり、素晴らしいと感じた。
- (構成員) 財務的にしっかりと運営がなされており、来期に向けての提案を見ても、より良い運営を行うための工夫や様々なことに挑戦していくという力強い意志を感じた。
- (構成員) 指定管理という視点で見ると充分であると感じた。エコタウン企業や社会情勢が変わる中で、センターの運営についても少し変化があると良いと感じた。例えば、食事場所や工場見学先についてもアップデートする必要性を感じた。
- (構成員) これから海外に向けて情報を発信していくことを考えると、韓国語だけでなく、英語への対応が出来るとより良いと思う。また、サーキュラーエコノミー×カーボニュートラル×ネイチャーポジティブを総合的に学べる取組みにトライするのは素晴らしいが、提案内容をもう少し踏み込んだものにするのが良かったと思う。

- (構 成 員) 長年、指定管理をされている団体ということで、安定した管理が出来るというメリットがある一方で、保守的になりがちなデメリットも感じた。何かもう一步踏み込んだ新しいチャレンジをしてもらえば、より良い形になると感じた。
- (事 務 局) 施設所管課として補足する。ご意見に出た昼食スペースや工場見学先のアップデートについては、提案者からは、現状で具体的な回答ができなかったところもあるが、市としても課題と認識しており、指定管理者と議論を始めたところであり、今後、しっかり対応して行きたい。また、英語を含めた多言語対応やサーキュラーエコノミー、カーボンニュートラル、ネイチャーポジティブについても、展示コンテンツのリニューアルを検討しており、指定管理の次のステップとして、市としても積極的に取り組んでいく予定である。

7 検討会としての評価レベル決定

審査項目ごとに、各構成員の評価レベルの平均をベースに検討会としての評価レベル（審査結果）決定した。

- 適 性 (1) 管理運営の理念 4点
- (2) 人的・財政基盤 4点
- (3) 実績・経験 4点
- 有効性 (1) 設置目的の達成 4点
- (2) 利用者満足向上 4点
- 効率性 (3) 指定管理料及び収入 3点
- (4) 収支計画の妥当性及び実現可能性 3点
- 適正性 (5) 管理運営体制 4点
- (6) 平等利用等 3点
- (7) 社会貢献・地域貢献 3点

8 検討会としての総合的な所見について

- (座 長) 検討会としての評価レベルから算出した得点は110点満点中79点となり、市内団体に対する優遇措置の5点を加え、合計得点は84点となった。

「管理運営に対する理念、基本方針」、「人的基盤、財政基盤」、「収支計画」、「平等利用、安全対策、危機管理体制」など、指定管理者に最低限求められる条件は十分満たしており、且つ、総合的に見ても市の要求水準を上回っていると判断できることから、本検討会として、「一般社団法人北九州エコタウンネットワーク」を北九州エコタウンセンターの指定管理者候補として、市へ報告をしたいと思うがよろしいか。

- (全構成員) 異議なし。

- 検討会の審査結果として、今回応募のあった1団体は次期指定管理者の候補に相応しいと結論。市に報告し、検討会を終了した。